

北斗市立久根別小学校

指定年度：H30～
児童数：378名

1 包括的な学校改善に向けた取組の概要

①教育理念や経営方針の明確化

- 教育目標を「自ら考え行動する子ども」に改訂し、教職員、保護者、地域等で共有する。「考えづくり」「心づくり」「体づくり」を3本柱として、知・徳・体のバランスの取れた教育活動を推進する。本校には、S57年開校時に制定した5つの教育目標のほか、複数の重点があったことから、教育目標を改訂し、その実現を目指して学校改善を進めることとした。
- PTA総会、学校評議員・学校運営協議会、学校通信、学校評価等で教育目標の実現状況等を周知している。

②校務分掌を工夫した組織体制の確立

- 校務の整理、取組の重点化、課題解決の方策の検討と教職員への周知を行うなど、効率的な学校運営に努めるために、教頭、主幹教諭、教務主任、生徒指導担当、研修担当、事務職員からなる校務企画委員会を組織した。
- 教職員相互が連携し、責任をもって業務運営に当たることができるよう、学級担任、教科担当以外の分掌業務については、一人一係制を基本とした。また、特定の教職員に負担がかかることのないよう、実施時期や内容、役割分担等を考慮している。
- 主幹教諭の指導の下、研修担当がリーダーシップを発揮して、学校全体で研修の推進と授業改善に取り組むことができるよう、校内研修体制を「学力向上」「カリキュラム・マネジメント」「授業力向上」「学びのきまり」の4チームに組織して、研修を推進している。



【授業改善についての研究協議】

③日常対話や面談の工夫

- 学校の教育目標の実現に向けた取組の確認や学校課題の明確化、その解決の方策を検討するため、校長と教職員の定期的な面談や打合せを実施している。

④教員の経験年数等に応じた育成計画

- 基礎的、基本的な学習内容の定着を図るため、授業改善に向けた校内研修を継続している。
- メンター及びメンティーの指導力の向上を図るため、メンター研修担当者を校務分掌に位置付け、初任段階研修やメンター研修を継続している。
- 信頼される学校づくりに向け、定期的に交通安全、事故防止、体罰、いじめ、パワハラ、セクハラ防止等に係る研修を行い、服務規律の徹底を図っている。



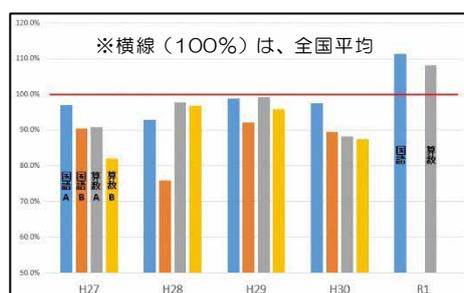
【初任段階教員の研究協議】

2 取組の成果と課題 (□：成果 ■：課題)

□分掌業務については、各担当者が校務企画委員会と連携し、早めの準備と無駄を排除し、目標の達成及び業務改善を推進することができた。

□校内研修推進をチーム制としたことにより、基本となる指導過程の確立、全校で統一した学習規律の徹底、学力調査の分析及び対策等について、全教員で検討し、実践に結び付けることで、児童の学力向上につながった。

■学校改善をより一層進めるために、学校評価を年に複数回実施し、PDCAサイクルを効果的に回す必要がある。



【全国学力・学習状況調査の結果】